

【資料 I】

※書名の表記は第6学年のものに統一

教科種目名 ≪理科(理科)≫

※詳細については、資料Ⅱ(理科-7～理科-14)を参照

発行者の略称	東書	書名	新編 新しい理科
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連	<p>○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、単元の学習内容をまとめる学習活動が『ふりかえろう』などに設定されている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、各単元に学習問題を確かめる方法や考える学習活動が『予想しよう』『計画しよう』『考察しよう』などに設定されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養に関して、火を消すために必要なことについて考える学習活動が『こんなところにも!』に設定されている。</p>		
2 かながわ教育ビジョンとの関連	<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> 『思いやる力』の「いのちの大切さ」について、人の誕生に関連して、産婦人科医へのインタビューを扱った『元気なうぶ声を聞くと安心します』などが掲載されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> 『たくましく生きる力』の「共生」について、友達の考えや意見を聞いて、新たに考えたことを伝えることなどが『話し合いのしかた』に掲載されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> 『社会とかかわる力』の「地域貢献活動」について、人と環境のかかわりとして、人のくらしが環境におよぼす影響などについて考える学習活動が『人と環境とかかわり』に設定されている。</p>		
3 内容と構成	<p>≪教科・種目共通の観点≫</p> <p>○ 小学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、単元で扱う問題に関連した学習活動が『レッツトライ』に設定されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、算数科との関連として、表やグラフの書き方などを示した『算数科で学んだことを活用しよう』が掲載されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、実験や観察の結果について考え、まとめる学習活動が『考えよう』に設定されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、天気に関することわざが『天気のことわざを調べてみよう』に掲載されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験活動の充実について、電気の効率的な使い方について、実際に電力量を調べて考えるなどの学習活動が『電気を効率的に使うためのくふう』に設定されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、中学校の学習内容である食物連鎖が『はってん』に掲載されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、野菜の水やりを自動で制御するプログラミングを考える学習活動が『理科とプログラミング』に設定されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 児童の学習上の困難さへの対応として、学習の見通しや問題解決の過程などを示した学習活動が『予想しよう』『計画しよう』などに設定されている。</p> <p>○ 児童にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が『理科の調べ方を身につけよう』などに示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。</p> <p>≪各教科・種目別の観点≫(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けることについて、観察方法や実験器具の使い方などが『理科の調べ方を身につけよう』に掲載されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 学年を通して育成を目指す問題解決の力を養うことについて、集気びんの中でろうそくを燃やし続けるために必要なことを考える学習活動などが『のぼそう! 理科の力』に設定されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> 「理科の見方・考え方」を働かせて、科学的に解決することについて、酸素の中と空気の中のろうそくの燃え方の違いを考える学習活動などが『広げよう! 理科の発想』に設定されている。</p>		
4 分量・装丁表記等	<p>⑲ <input type="checkbox"/> 補充や発展問題として、単元末に『ふりかえろう』『たしかめよう』が、巻末に『1年間をふりかえろう』などが掲載され、10～12章で構成されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型はA4判が採用されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『全ての児童の色覚特性に適応するようにデザインしています。』『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』と表記されている。</p>		

【資料 I】

※書名の表記は第6学年のものに統一

教科種目名 ≪理科(理科)≫

※詳細については、資料Ⅱ(理科-7～理科-14)を参照

発行者の略称	大日本	書名	新版 たのしい理科
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連			<p>○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、単元の学習内容をまとめる学習活動が『確かめよう』などに設定されている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、各単元に問題について確かめる方法や考える学習活動が『予想』『計画』などに設定されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養に関して、私たちが利用できる水はどれくらいあるのかを考える学習活動が『りかのたまてばこ』に設定されている。</p>
2 かながわ教育ビジョンとの関連			<p>○教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> 「思いやる力」の「いのちの大切さ」について、人の誕生に関連して、出産の前後で母親の生活および心を支えている産婦人科医を取り上げた『命のたんじょうに寄りそう産婦人科医の仕事』が掲載されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> 「たくましく生きる力」の「共生」について、友達の考えや意見を聞いて、新たに考えたことを伝えることなどが『考察』に掲載されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> 「社会とかかわる力」の「地域貢献活動」について、人と環境のかかわりについて考える学習活動が『多摩川のとり組み』に設定されている。</p>
3 内容と構成			<p>≪教科・種目共通の観点≫</p> <p>○小学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、単元で扱う問題に関連した学習活動が『問題をみつける』に設定されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、算数科との関連として、表やグラフの書き方や計算などを示した『算数科とつなげよう』が掲載されている。</p> <p>○学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、実験や観察の結果について考え、まとめる学習活動が『深めよう』に設定されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、天気に関する言い習わしが『天気の良い習わし』に掲載されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験活動の充実について、水よう液に溶けているものをとり出すなど、学んだことを生かしてできる学習活動が『大きなミョウバンをつくってみよう』に設定されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、中学校の学習内容である燃える金属が『中学校で学ぶこと』に掲載されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、身の回りの電気製品のプログラミングを考える学習活動が『プログラミングを体験してみよう!』に設定されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 児童の学習上の困難さへの対応として、学習の見通しや問題解決の過程などを示した学習活動が『理科の学び方』に設定されている。</p> <p>○児童にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が『タブレットを使ってみよう』などに示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。</p> <p>≪各教科・種目別の観点≫(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けることについて、観察方法や実験器具の使い方などが『使い方をおぼえよう』に掲載されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 学年を通して育成を目指す問題解決の力を養うことについて、打ち水や緑のカーテンは、水や植物の性質をどのように生かしているのか考える学習活動が『Science World』に設定されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> 「理科の見方・考え方」を働かせて、科学的に解決することについて、葉に日光が当たると植物が成長することについて考える学習活動などが『ココに注目』に設定されている。</p>
4 分量・装丁表記等			<p>⑲ <input type="checkbox"/> 補充や発展問題として、単元末に『確かめよう』『学んだことを生かそう』などが、巻末に『チャレンジ問題』などが掲載され、10～11章で構成されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型はA4判が採用されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』と表記されている。</p>

【資料 I】

※書名の表記は第6学年のものに統一

教科種目名 ≪理科(理科)≫

※詳細については、資料Ⅱ(理科-7～理科-14)を参照

発行者の略称	学 園	書 名	みんなと学ぶ 小学校 理科
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連			<p>○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、単元の学習内容をまとめる学習活動が『わかったこと』などに設定されている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、各単元に問題について確かめる方法や考える学習活動が『問題をみつけよう』『計画』などに設定されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養に関して、持続可能な漁業について考える学習活動が『もっとしりたい』に設定されている。</p>
2 かながわ教育ビジョンとの関連			<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> 「思いやる力」の「いのちの大切さ」について、胎児の成長を表やグラフで表し、身近なものの重さに例える『たい児の大きさや重さ』が掲載されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> 「たくましく生きる力」の「共生」について、友達の考えや意見を聞いて、新たに考えたことを伝えることが『伝える・聞く』に掲載されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> 「社会とかかわる力」の「地域貢献活動」について、国の天然記念物であるイタセンバラの生息地を守る活動について考える学習活動が『イタセンバラを守る(富山県氷見市)』に設定されている。</p>
3 内容と構成			<p>≪教科・種目共通の観点≫</p> <p>○ 小学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、単元で扱う問題に関連した学習活動が『やってみよう』に設定されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、算数科との関連として、平均の出し方を示した『平均』が掲載されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、実験や観察の結果について考え、まとめる学習活動が『「使い方説明書」を作ろう』に設定されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、天気予想に利用された日和山が『約190年前の日和山のようす』に掲載されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験活動の充実について、風のはたらきなど、学んだことを生かしてできる学習活動が『風車の作り方』に設定されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、中学校の学習内容である心臓のはく動と脈はくが『もっとしりたい』に掲載されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、身の回りの電気製品に利用されているプログラミングについて考える学習活動が『プログラミングを作る』に設定されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 児童の学習上の困難さへの対応として、学習の見通しや問題解決の過程などを示した学習活動が『科学の芽を育てよう』に設定されている。</p> <p>○ 児童にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が『調べる②-ICTを使う-』などに示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。</p> <p>≪各教科・種目別の観点≫(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けることについて、観察方法や実験器具の使い方などが『理科室の使い方』に掲載されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 学年を通して育成を目指す問題解決の力を養うことについて、生物の体の中に含まれる水分やそのはたらきについて考える学習活動などが『もっとしりたい』に設定されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> 「理科の見方・考え方」を働かせて、科学的に解決することについて、空気のないところで植物を燃やすと炭になることについて考える学習活動などが『植物の炭を作ろう』に設定されている。</p>
4 分量・装丁表記等			<p>⑲ <input type="checkbox"/> 補充や学習の振り返りとして、単元末に『ふりかえろう』『できるようになった』などが、巻末に『理科の世界をふりかえろう』などが掲載され、10～12章で構成されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型はAB判が採用されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮しています。』『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』と表記されている。</p>

【資料 I】

※書名の表記は第6学年のものに統一

教科種目名 ≪理科(理科)≫

※詳細については、資料Ⅱ(理科-7～理科-14)を参照

発行者の略称	教出	書名	未来をひらく 小学理科
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連			<p>○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、単元の学習内容をまとめる学習活動が『ふり返ろう』などに設定されている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、各単元に問題に対する答えを予想し、それを確かめる調べ方を考える学習活動が『予想しよう 計画しよう』などに設定されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養に関して、てこのはたらきが利用されている道具について考える学習活動が『学びを広げよう』に設定されている。</p>
2 かながわ教育ビジョンとの関連			<p>○教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> 「思いやる力」の「いのちの大切さ」について、新しい命の誕生についての母親の思いを扱った『新しい生命が生まれる喜び』が掲載されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> 「たくましく生きる力」の「共生」について、友達の考えや意見を聞いて、新たに考えたことを伝えることなどが『自分たちの考えを伝え合い、学び合おう』に掲載されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> 「社会とかかわる力」の「地域貢献活動」について、小学生による川掃除活動や川をきれいにするための取組について考える学習活動が『近木川クリーンキャンペーン』に設定されている。</p>
3 内容と構成			<p>≪教科・種目共通の観点≫</p> <p>○小学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、単元で扱う問題に関連した学習活動が『学習の進め方』に設定されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、算数科との関連として、表やグラフの書き方などを示した『算数とのつながり』が掲載されている。</p> <p>○学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、実験や観察の結果について考え、まとめる学習活動が『結果から考えよう』に設定されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、月に関する俳句が『月の見え方と太陽』に掲載されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験活動の充実について、生き物ブックを作るなど、学んだことを生かしてできる学習活動が『チャレンジ』に設定されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、中学校の学習内容である生物の観察と分類が『学習のつながり』に掲載されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、明かりをつけたり消したりするプログラミングを考える学習活動が『プログラムの利用』に設定されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 児童の学習上の困難さへの対応として、学習の見通しや問題解決の過程などを示した学習活動が『学習の進め方』に設定されている。</p> <p>○児童にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が『使い方・調べ方』などに示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。</p> <p>≪各教科・種目別の観点≫(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けることについて、観察方法や実験器具の使い方などが『使い方・調べ方』に掲載されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 学年を通して育成を目指す問題解決の力を養うことについて、地球温暖化の原因や影響、また、その対策について考える学習活動などが『しりょう』に設定されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> 「理科の見方・考え方」を働かせて、科学的に解決することについて、だ液を混ぜたものと混ぜていないもので起こる変化の違いについて考える学習活動などが『考え方のカギ』に設定されている。</p>
4 分量・装丁表記等			<p>⑲ <input type="checkbox"/> 補充や発展問題として、単元末に『問題』『確かめよう』などが、巻末に『6年で学んだこと』などが掲載され、9～11章で構成されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型はA4変形判が採用されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮しています。』『見やすさ・読みやすさに配慮したユニバーサルデザインフォントを使用しています。』と表記されている。</p>

【資料 I】

※書名の表記は第6学年のものに統一

教科種目名 ≪理科(理科)≫

※詳細については、資料Ⅱ(理科-7～理科-14)を参照

発行者の略称	信教	書名	楽しい理科
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連			<p>○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、単元の学習内容をまとめる学習活動が『ふりかえろう(なるほど)』などに設定されている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、各単元に問題に対する答えを予想し、それを確かめる調べ方を考える学習活動が『問題』などに設定されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養に関して、葉にできたでんぷんのゆくえについて考える学習活動が『しりょう』などに設定されている。</p>
2 かながわ教育ビジョンとの関連			<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> 『思いやる力』の「いのちの大切さ」について、命の学習を振り返りながら生命のつながりについて扱った『受けつがれる生命』が掲載されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> 『たくましく生きる力』の「共生」について、友達の考えや意見を聞いて、新たに考えたことを伝えることなどが『結果から考えてみよう』に掲載されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> 『社会とかかわる力』の「地域貢献活動」について、水害などを減らす取組として山や田んぼを守ることについて考える学習活動が『植林する子どもたち』に設定されている。</p>
3 内容と構成			<p>≪教科・種目共通の観点≫</p> <p>○ 小学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、単元で扱う問題に関連した学習活動が『理科の学習の進め方』に設定されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、算数科との関連として、表やグラフの書き方などを示した『やってみよう』が掲載されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、実験や観察の結果について考え、まとめる学習活動が『しらべてみよう』に設定されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、昔から世界中で使われてきた日時計が『太陽と影を調べよう』に掲載されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験活動の充実について、磁石の性質を利用して魚つりゲーム作るなど、学んだことを生かしてできる学習活動が『ものづくり』に設定されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、中学校の学習内容である力のはたらきが『中学校の理科』に掲載されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、人がいるときだけ明かりがつく装置のプログラミングを考える学習活動が『方法を考えてみよう』に設定されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 児童の学習上の困難さへの対応として、学習の見通しや問題解決の過程などを示した学習活動が『理科の学習の進め方』に設定されている。</p> <p>○ 児童にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が『たしかめよう』などに示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。</p> <p>≪各教科・種目別の観点≫(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けることについて、観察方法や実験器具の使い方などが『実験』に掲載されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 学年を通して育成を目指す問題解決の力を養うことについて、学んだことについて主体的に新たなテーマを設定する学習活動が『やってみよう自由研究』に設定されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> 「理科の見方・考え方」を働かせて、科学的に解決することについて、葉に日光が当たるとでんぷんができることを確かめる方法を考える学習活動などが『方法を考えてみよう』に設定されている。</p>
4 分量・装丁表記等			<p>⑲ <input type="checkbox"/> 補充や発展問題として、単元末に『ふりかえろう』『やってみよう自由研究』などが掲載され、10～16章で構成されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型はAB判が採用されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『この教科書は、必要な情報がより多くの人に伝わるよう、カラーユニバーサルデザインに配慮して作られています。』と表記されている。</p>

【資料 I】

※書名の表記は第6学年のものに統一

教科種目名 <<理科(理科)>>

※詳細については、資料Ⅱ(理科-7～理科-14)を参照

発行者の略称	啓林館	書名	わくわく理科
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連			<p>○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、単元の学習内容をまとめる学習活動が『ふり返ろう まとめノート』などに設定されている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、各単元に問題に対する答えを予想し、それを確かめる調べ方を考える学習活動が『予想』『計画』などに設定されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養に関して、海洋酸性化が与える環境への影響などについて考える学習活動が『くらしとリンク』などに設定されている。</p>
2 かながわ教育ビジョンとの関連			<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> 「思いやる力」の「いのちの大切さ」について、母親を社会全体で支えるために取り組んでいる『お母さんを支えるマタニティマーク?』が掲載されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> 「たくましく生きる力」の「共生」について、友達の考えや意見を聞いて、新たに考えたことを伝えることなどが『伝える』に掲載されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> 「社会とかかわる力」の「地域貢献活動」について、水害などを減らすことにもつながる環境保全の取組について考える学習活動が『植林活動』に設定されている。</p>
3 内容と構成			<p>&lt;&lt;教科・種目共通の観点&gt;&gt;</p> <p>○ 小学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、単元で扱う問題に関連した学習活動が『理科の楽しみ方』に設定されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、算数科との関連として、表やグラフの書き方などを示した『理科につながる算数のまど』が掲載されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、実験や観察の結果について考え、まとめる学習活動が『ノートのまとめ方』に設定されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、月に関する俳句が『活用しよう』に掲載されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験活動の充実について、糸電話をつくらうなど、学んだことを生かしてできる学習活動が『理科の広場』に設定されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、中学校の学習内容である細胞が『中学校へ向けて』に掲載されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、電気の利用とむだなく使う工夫を考えるプログラミングの学習活動などが『電気をむだなく使うプログラミングをつかってみよう』に設定されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 児童の学習上の困難さへの対応として、学習の見通しや問題解決の過程などを示した学習活動が『理科の楽しみ方』に設定されている。</p> <p>○ 児童にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が『学びの中でICTを活用してみよう』などに示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。</p> <p>&lt;&lt;各教科・種目別の観点&gt;&gt;(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けることについて、観察方法や実験器具の使い方などが『けんび鏡』に掲載されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 学年を通して育成を目指す問題解決の力を養うことについて、ものを燃やすための条件について考える学習活動などが『くらしとリンク』に設定されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> 「理科の見方・考え方」を働かせて、科学的に解決することについて、太陽光パネルが同じ向きであることについて考える学習活動などが『理科の見方・考え方』が役に立ったよ!』に設定されている。</p>
4 分量・装丁表記等			<p>⑲ <input type="checkbox"/> 補充や発展問題として、単元末に『たしかめよう』『活用しよう』などが、巻末に『理科につながる算数のまど』などが掲載され、9～11章で構成されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型はAB判が採用されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』『個人の特性にかかわらず、内容が伝わりやすい配色・デザインを用いました。メディアユニバーサルデザイン協会の認定を申請中です。(後略)』と表記されている。</p>

【資料Ⅱ】

教科種目名≪理科(理科)≫

1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連

① 生きて働く「知識・技能」を習得するための工夫や配慮	
東書	「知識・技能」の習得について、単元の学習内容をまとめる学習活動が『ふりかえろう』などに設定されている。また、第5学年では、実験・観察について、変化の過程を示す視覚資料や器具の安全な使用方法、専門用語などが『たまごの中の変化』に掲載されている。
大日本	「知識・技能」の習得について、単元の学習内容をまとめる学習活動が『確かめよう』などに設定されている。また、実験方法や自然現象についての比較や観察ができるよう、各単元に複数の視覚教材が掲載されている。
学図	「知識・技能」の習得について、単元の学習内容をまとめる学習活動が『わかったこと』などに設定されている。また、観察実験結果が見開き写真やイラストで掲載されている。
教出	「知識・技能」の習得について、単元の学習内容をまとめる学習活動が『ふり返ろう』などに設定されている。また、学習したことと用語を確認し、ワークシート形式で実験、観察、結論を整理する学習活動が『確かめよう』に設定されている。
信教	「知識・技能」の習得について、単元の学習内容をまとめる学習活動が『ふりかえろう(なるほど)』などに設定されている。イラストを用いて学習した内容を複数回確認し、整理する資料が『わかったこと』に掲載されている。
啓林館	「知識・技能」の習得について、単元の学習内容をまとめる学習活動などが『ふり返ろう まとめノート』などに設定されている。また、学習内容のまとめや実験の仕方について、イラストと文章で整理して掲載している。
② 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮	
東書	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、各単元に学習問題を確かめる方法や考える学習活動が『予想しよう』『計画しよう』『考察しよう』などに設定されている。また、第6学年では、課題をもち、つかんだ課題を予想し、それを確かめる方法を計画し、課題を解決するための観察・実験などが『レッツトライ』に掲載されている。
大日本	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、各単元に問題について確かめる方法や考える学習活動が『予想』『計画』などに設定されている。また、経験をもとに予想し、調べ方についての計画を考え、それを解決するための実験・観察が掲載されている。
学図	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、各単元に問題について確かめる方法や考える学習活動が『問題をつまみつけよう』『計画』などに設定されている。また、児童が実験結果を記録するための表などが掲載されている。
教出	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、各単元に問題に対する答えを予想し、それを確かめる調べ方を考える学習活動が『予想しよう 計画しよう』などに設定されている。また、学習の前後でどのような力が身についたかを振り返る学習活動が『確かめよう』に設定されている。
信教	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、各単元に問題に対する答えを予想し、それを確かめる調べ方を考える学習活動が『問題』などに設定されている。また、問題、観察または実験、結果について学習の定着を図る学習活動が『ふり返ろう まとめノート』に設定されている。
啓林館	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、各単元に問題に対する答えを予想し、それを確かめる調べ方を考える学習活動が『予想』『計画』などに設定されている。また、『?問題』では予想と計画をすることで、児童が見通しを持てるよう設定されている。
③ 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養するための工夫や配慮	
東書	「学びに向かう力・人間性等」の涵養に関して、第6学年では、火を消すために必要なことについて考える学習活動が『こんなところにも!』に設定されている。また、巻頭に理科で重視される問題解決の力を育むための学習過程が『理科の学び方』に掲載されている。
大日本	「学びに向かう力・人間性等」の涵養に関して、第6学年では、私たちが利用できる水はどれくらいあるのかを考える学習活動が『りかのたまたまばこ』に設定されている。また、日常生活から問題を見いだす学習活動が『問題を見つける』に掲載されている。
学図	「学びに向かう力・人間性等」の涵養に関して、第6学年では、持続可能な漁業について考える学習活動が『もっとしりたい』に設定されている。また、巻頭に理科で重視される問題解決の力を育むための学習活動が『科学の芽を育てよう』に設定されている。
教出	「学びに向かう力・人間性等」の涵養に関して、第3学年では、てこのはたらきが利用されている道具について考える学習活動が『学びを広げよう』に設定されている。また、各単元における学習の構成として、単元末に自分の成長を意識する場面が『学習後の〇〇さん』に掲載されている。
信教	「学びに向かう力・人間性等」の涵養に関して、第6学年では、葉にできたでんぷんのゆくえについて考える学習活動が『しりょう』に設定されている。また、各単元の学習で日常生活に応用できる資料が『しらべてみよう』に掲載されている。
啓林館	「学びに向かう力・人間性等」の涵養に関して、第6学年では、海洋酸性化が与える環境への影響などについて考える学習活動が『くらしとリンク』に設定されている。また、学習内容を発展させるための資料が『活用しよう』に掲載されている。

2 かながわ教育ビジョンとの関連

④ [思いやる力]他者を尊重し、多様性を認め合う、思いやる力を育てる。	
(共生、豊かな心、いのちの大切さ、生命の尊厳、人権教育、道徳教育 など)	
東書	[思いやる力]の「いのちの大切さ」について、人の誕生に関連して、産婦人科の医師にインタビューしている『元気なうぶ声を聞くと安心します』などが掲載されている。また、第6学年では、生命の尊厳や人と自然環境との関わりを題材とした資料などが『生き物がすむ環境を守る』に掲載されている。
大日本	[思いやる力]の「いのちの大切さ」について、人の誕生に関連して、出産の前後で母親の生活および心を支えているサンフジ簡易を取り上げた『命のたんじょうに寄りそう産婦人科医の仕事』が掲載されている。また、SDGsの視点で人と自然環境との関わりについて紹介する資料が掲載されている。
学図	[思いやる力]の「いのちの大切さ」について、胎児の成長を表やグラフで表し、身近なものの重さに例える『たい児の大きさや重さ』が掲載されている。また、体験を通して生命の大切さについて考え、活動や人と自然環境との関わりからSDGsにつながる資料が掲載されている。
教出	[思いやる力]の「いのちの大切さ」について、新しい命の誕生についての母親の思いを扱った『新しい生命が生まれる喜び』が掲載されている。また、人と自然が共生するための取組や生命の誕生、自然現象との関わりに関する資料が掲載されている。
信教	[思いやる力]の「いのちの大切さ」について、命の学習を振り返りながら生命のつながりについて扱った『受けつがれる生命』が掲載されている。また、人と自然環境との関わりとそれに対する工夫や努力、生命の営みなどについての資料が掲載されている。
啓林館	[思いやる力]の「いのちの大切さ」について、母親を社会全体で支えるために取り組んでいる『お母さんを支えるマタニティマーク?』が掲載されている。また、私達のくらしと自然環境との関わりや動物や植物の生命を題材とした資料が掲載されている。
⑤ [たくましく生きる力]自立した一人の人間として、社会をたくましく生き抜くことのできる力を育てる。	
(公共心、規範意識、責任感、国際化、情報化、食育、健康教育、コミュニケーション能力 など)	
東書	[たくましく生きる力]の「共生」について、友達の考えや意見を聞いて、新たに考えたことを伝えることなどが『話し合いのしかた』に掲載されている。また、第6学年では、発表や話し合いの仕方、学びを広げる工夫などが『地球にいきる』に掲載されている。
大日本	[たくましく生きる力]の「共生」について、友達の考えや意見を聞いて、新たに考えたことを伝えることなどが『考察』に掲載されている。また、観察・実験の方法と記録を題材とした資料が『深めよう』に掲載されている。
学図	[たくましく生きる力]の「共生」について、友達の考えや意見を聞いて、新たに考えたことを伝えることが『伝える・聞く』に掲載されている。また、観察・実験の方法と記録についての資料が掲載されている。
教出	[たくましく生きる力]の「共生」について、友達の考えや意見を聞いて、新たに考えたことを伝えることなどが『自分たちの考えを伝え合い、学び合おう』に掲載されている。また、SDGsを実現するために、私たちにできることについて扱った資料が掲載されている。
信教	[たくましく生きる力]の「共生」について、友達の考えや意見を聞いて、新たに考えたことを伝えることなどが『結果から考えてみよう』に掲載されている。また、情報化に関する学習の参考となる資料が『天気情報の例』に掲載されている。
啓林館	[たくましく生きる力]の「共生」について、友達の考えや意見を聞いて、新たに考えたことを伝えることなどが『伝える』に掲載されている。また、『ノートのまとめ方』などを示した資料が掲載されている。
⑥ [社会とかかわる力]社会とかかわりの中で、自己を成長させ、社会に貢献する力を育てる。	
(生きること、働くことの大切さ、自然や人とのふれあい体験、地域貢献活動、ボランティア活動 など)	
東書	[社会とかかわる力]の「地域貢献活動」について、人と環境のかかわりとして、人のくらしが環境におよぼす影響などについて考える学習活動が『人と環境とかかわり』に設定されている。また、第6学年では、ロボット研究者や宇宙飛行士、消防隊員などが理科で学んだことをどう職業に活かしているか紹介する資料などが『地球に生きるみなさんへ』に掲載されている。
大日本	[社会とかかわる力]の「地域貢献活動」について、人と環境のかかわりについて考える学習活動が『多摩川のとり組み』に設定されている。また、理科に関係する職業として、研究者等が掲載されている。
学図	[社会とかかわる力]の「地域貢献活動」について、国の天然記念物であるイタセンバラの生息地を守る活動について考える学習活動が『イタセンバラを守る(富山県氷見市)』に設定されている。また、理科に関わる職業の紹介する資料として『科学者を知ろう』が掲載されている。
教出	[社会とかかわる力]の「地域貢献活動」について、小学生による川掃除活動や川をきれいにするための取組について考える学習活動が『近木川クリーンキャンペーン』に設定されている。また、理科で学んだことを仕事に生かしている様子が掲載されている。
信教	[社会とかかわる力]の「地域貢献活動」について、水害などを減らす取組として山や田んぼを守ることについて考える学習活動が『植林する子どもたち』に設定されている。また、理科に関わる職業の紹介する資料として『リンゴの人工授粉』が掲載されている。
啓林館	[社会とかかわる力]の「地域貢献活動」について、水害などを減らすことにもつながる環境保全の取組について考える学習活動が『植林活動』に設定されている。また、自然とのふれあい体験について、身近な動植物の様子や日本各地の自然等が掲載されている。



3 内容と構成

- 小学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。

⑦ 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮	
東書	主体的・対話的で深い学びについて、単元で扱う問題に関連した学習活動が『レッツトライ』に設定されている。また、問題解決の過程では、想定される対話の様子をイラストで示したり、まとめたことを一般化するための『問題』が掲載されている。
大日本	主体的・対話的で深い学びについて、単元で扱う問題に関連した学習活動が『問題をみつける』に設定されている。また、各単元に問題を見出す場面や学習内容を発展的に取り上げる場面が掲載されている。
学図	主体的・対話的で深い学びについて、単元で扱う問題に関連した学習活動が『やってみよう』に設定されている。また、問題解決のプロセスの中で、キャラクターによる対話の例が掲載されている。
教出	主体的・対話的で深い学びについて、単元で扱う問題に関連した学習活動が『学習の進め方』に設定されている。また、問題解決のプロセスにおいて、想定される対話の様子や結論の一般化を図る問い等が掲載されている。
信教	主体的・対話的で深い学びについて、単元で扱う問題に関連した学習活動が『理科の学習の進め方』に設定されている。また、問題を見つけるため、対話を通して気付きや感想、実験の計画の意見を出し合うなどの場面が掲載されている。
啓林館	主体的・対話的で深い学びについて、単元で扱う問題に関連した学習活動が『理科の楽しみ方』に設定されている。また、予想・計画や考察で気付きや感想を出し合う学習場面には、話したり聞いたりする時の要点が掲載されている。
⑧ 他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮	
(教科等横断的に学習を展開する上での工夫や配慮、小学校6年間や義務教育学校9年間の学びのつながりや系統性、基礎的な学習と発展的な学習との明確な区分けなど、児童が学習を進めたり教員が指導計画を立てたりしやすいような工夫や配慮など)	
東書	カリキュラム・マネジメントについて、算数科との関連として、表やグラフの書き方などを示した『算数科で学んだことを活用しよう』が掲載されている。また、巻末には、小学校で学んだことを発展させ、中学で学習することが『中学校1年で学習すること』に掲載されている。
大日本	カリキュラム・マネジメントについて、算数科との関連として、表やグラフの書き方や計算などを示した『算数科とつなげよう』が掲載されている。また、巻末に算数や他の教科への学びとこれまでの理科の学びをつなげる内容が掲載されている。
学図	カリキュラム・マネジメントについて、算数科との関連として、平均の出し方を示した『平均』が掲載されている。また、教科書の裏表紙に学習内容からSDGsにつなげるための目標が掲載されている。
教出	カリキュラム・マネジメントについて、算数科との関連として、表やグラフの書き方などを示した『算数とのつながり』が掲載されている。また、巻末に理科と算数のつながりや今後の学習の見通しや、育成すべき問題解決の力などについて領域ごとに色分けして掲載されている。
信教	カリキュラム・マネジメントについて、算数科との関連として、表やグラフの書き方などを示した『やってみよう』が掲載されている。また、発展として中学校で扱う学年と内容が『やってみよう』に掲載されている。
啓林館	カリキュラム・マネジメントについて、算数科との関連として、表やグラフの書き方などを示した『理科につながる算数のまど』が掲載されている。また、単元に他教科との関連を示した他教科関連マークが掲載されている。

○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。

⑨ 言語能力の確実な育成	
東書	言語能力の育成について、実験や観察の結果について考え、まとめる学習活動が『考えよう』に設定されている。また、単元では児童の考えを吹き出しのイラストで示したり、巻末には理科を学ぶときに役立つ資料として『かく・話す』が掲載されている。
大日本	言語能力の育成について、実験や観察の結果について考え、まとめる学習活動が『深めよう』に設定されている。また、考察の場面で児童の言葉で話し合っている様子が掲載されている。
学図	言語能力の育成について、実験や観察の結果について考え、まとめる学習活動が『「使い方説明書」を作ろう』に設定されている。また、話し合いの仕方やノートの書き方等についても掲載されている。
教出	言語能力の育成について、実験や観察の結果について考え、まとめる学習活動が『結果から考えよう』に設定されている。また、各単元で話し合いの仕方について掲載されている。
信教	言語能力の育成について、実験や観察の結果について考え、まとめる学習活動が『しらべてみよう』に設定されている。また、各単元で話し合いの場面を分かり易く示し、具体的な話し合いの仕方についても掲載されている。
啓林館	言語能力の育成について、実験や観察の結果について考え、まとめる学習活動が『ノートのまとめ方』に設定されている。また、問題をつかむ場面から考察をする場面までの話し合いの例などが掲載されている。
⑩ 伝統や文化に関する教育の充実	
東書	伝統や文化に関する教育の充実について、天気に関することわざが『天気のことわざを調べてみよう』に掲載されている。また、伝統や文化に関する資料として、昔から海水を原料に行われてきた『海水から食塩をつくる！』や、巻末に日本の博物館や科学館に関する紹介が掲載されている。
大日本	伝統や文化に関する教育の充実について、天気に関する言い習わしが『天気のいい習わし』に掲載されている。また、単元末には日本の自然や文化などが掲載されている。
学図	伝統や文化に関する教育の充実について、天気の予想に利用された日和山が『約190年前の日和山のようす』に掲載されている。また、伝統や文化に関する教育の充実などについて『もっと知りたい』に掲載されている。
教出	伝統や文化に関する教育の充実について、月に関する俳句が『月の見え方と太陽』に掲載されている。また、日本の伝統の食料保存について『天日干し』が掲載されている。
信教	伝統や文化に関する教育の充実について、昔から世界中で使われてきた日時計が『太陽と影を調べよう』に掲載されている。また、日本の歴代科学者の功績などが『ふしぎな追いを求めた科学者』に掲載されている。
啓林館	伝統や文化に関する教育の充実について、月に関する俳句が『活用しよう』に掲載されている。また、生活の中に根付く工芸品などの例が『黄どう』に掲載されている。
⑪ 体験活動の充実	
東書	体験活動の充実について、電気の効率的な使い方について、実際に電力量を調べて考えるなどの学習活動が『電気を効率的に使うためのくふう』に設定されている。また、第6学年では、『電気と私たちの暮らし』の単元末には、実際に電気がつくられている場所を探すなどの活動例が『レッツトライ』に掲載されている。
大日本	体験活動の充実について、水よう液に溶けているものをとり出すなど、学んだことを生かしてできる学習活動が『大きなミョウバンをつくってみよう』に設定されている。また、日本の科学館や博物館の利用に関する紹介として『科学館・博物館に行ってみよう』が掲載されている。
学図	体験活動の充実について、風のはたらしきなど、学んだことを生かしてできる学習活動が『風車の作り方』に設定されている。また、日本の科学館や博物館を紹介する『わたしの自由研究』などが掲載されている。
教出	体験活動の充実について、生き物ブックを作るなど、学んだことを生かしてできる学習活動が『チャレンジ』に設定されている。また、日本の科学館や博物館、科学者を紹介する『科学館や博物館の利用』などが掲載されている。
信教	体験活動の充実について、磁石の性質を利用して魚つりゲーム作るなど、学んだことを生かしてできる学習活動が『ものづくり』に設定されている。また、道具の作り方や実験を紹介する『やってみよう』などが掲載されている。
啓林館	体験活動の充実について、糸電話をつくらうなど、学んだことを生かしてできる学習活動が『理科の広場』に設定されている。また、動物園や水族館が『くらしとリンク』などに掲載されている。
⑫ 学校段階間の円滑な接続	
東書	学校段階間の円滑な接続について、中学校の学習内容である食物連鎖や地震などについて『はってん』が掲載されている。また、巻末には既習内容と中学校の学習のつながりを示した『中学校1年で学習すること』が掲載されている。
大日本	学校段階間の円滑な接続について、中学校の学習内容である燃える金属が『中学校で学ぶこと』に掲載されている。また、巻末には中学校の学習内容について『中学生になったら…』が掲載されている。
学図	学校段階間の円滑な接続について、中学校の学習内容である心臓のはく動と脈はくが『もっと知りたい』に掲載されている。また、中学校の学習内容に触れた『もうすぐ中学生』が掲載されている。
教出	学校段階間の円滑な接続について、中学校の学習内容である生物の観察と分類が『学習のつながり』に掲載されている。また、学校段階間の円滑な接続について、単元の導入ページにおいて、他学年の学習とのつながりがわかるように『学習のつながり』に掲載されている。
信教	学校段階間の円滑な接続について、中学校の学習内容である力のはたらしが『中学校の理科』に掲載されている。また、学習を発展させた内容などについて『ふりかえろう』が掲載されている。
啓林館	学校段階間の円滑な接続について、中学校の学習内容である細胞が『中学校へ向けて』に掲載されている。また、単元末には、小学校での学習を発展した内容が『理科の広場』に掲載されている。

<b>⑬ 情報活用能力の育成</b>	
東書	情報活用能力の育成について、野菜の水やりを自動で制御するプログラミングを考える学習活動が『理科とプログラミング』に設定されている。また、各単元の実験や観察の結果に関する記録やまとめの方法が掲載されている。
大日本	情報活用能力の育成について、身の回りの電気製品のプログラミングを考える学習活動が『プログラミングを体験してみよう！』に設定されている。また、学習内容に関するデータの取り方や表のまとめ方が『理科のノートの書き方』に掲載されている。
学図	情報活用能力の育成について、身の回りの電気製品に利用されているプログラミングについて考える学習活動が『プログラミングを作る』に設定されている。また、各単元の『実験』や『観察』に記録や観察方法、記録の描き方が掲載されている。
教出	情報活用能力の育成について、明かりをつけたり消したりするプログラミングを考える学習活動が『プログラムの利用』に設定されている。また、巻末には機器を用いた実験や観察方法に関する資料が掲載されている。
信教	情報活用能力の育成について、人がいるときだけ明かりがつく装置のプログラミングを考える学習活動が『方法を考えてみよう』に設定されている。また、各単元の『実験』や『観察』について、記録の取り方など、学習の参考になる資料が掲載されている。
啓林館	情報活用能力の育成について、電気の利用とむだなく使う工夫を考えるプログラミングの学習活動などが『電気をむだなく使うプログラミングをつかってみよう』に設定されている。また、各単元の実験や観察に関する情報の集め方や結果の整理の仕方などが掲載されている。
<b>⑭ 児童の学習上の困難さに応じた工夫</b>	
東書	児童の学習上の困難さへの対応として、学習の見通しや問題解決の過程などを示した学習活動が『予想しよう』『計画しよう』などに設定されている。また、問題解決の過程として『理科の学び方』が掲載されている。
大日本	児童の学習上の困難さへの対応として、学習の見通しや問題解決の過程などを示した学習活動が『理科の学び方』に設定されている。また、問題解決の過程として『予想』『計画』などが掲載されている。
学図	児童の学習上の困難さへの対応として、学習の見通しや問題解決の過程などを示した学習活動が『科学の芽を育てよう』に設定されている。また、写真と文を対応させた器具の使い方などが掲載されている。
教出	児童の学習上の困難さへの対応として、学習の見通しや問題解決の過程などを示した学習活動が『学習の進め方』に設定されている。また、各単元の重要な語句等に「見方・考え方」などを示すマークが掲載されている。
信教	児童の学習上の困難さへの対応として、学習の見通しや問題解決の過程などを示した学習活動が『理科の学習の進め方』に設定されている。また、学習の振り返りとして『思い出そう』が掲載されている。
啓林館	児童の学習上の困難さへの対応として、学習の見通しや問題解決の過程などを示した学習活動が『理科の楽しみ方』に設定されている。また、問題解決の過程として『考察しよう』が掲載されている。
<b>⑮ 児童にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</b>	
東書	児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が『理科の調べ方を身につけよう』などに示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。また、各単元に学習を広げるための二次元コードが掲載されている。
大日本	児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が『タブレットを使ってみよう』などに示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。また、各単元の実験器具の使い方等に関する二次元コードが掲載されている。
学図	児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が『調べる②-ICTを使う-』などに示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。また、各単元に学習の振り返りのための二次元コードが掲載されている。
教出	児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が『使い方・調べ方』などに示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。また、単元のはじめに学習を振り返るための二次元コードが掲載されている。
信教	児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が『たしかめよう』などに示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。また、各単元の実験器具の使い方等にリンクする二次元コードが掲載されている。
啓林館	児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が『学びの中でICTを活用してみよう』などに示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。また、各単元に学習内容を振り返る補充問題などにリンクする二次元コードが掲載されている。
<b>⑯ 観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにするために、児童の発達の段階に即した工夫や配慮はなされているか。</b>	
東書	観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けることについて、観察方法や実験器具の使い方などが『理科の調べ方を身につけよう』に掲載されている。また、実験器具や薬品の使用、観察・実験を安全に行うための注意点などが『きけん』に掲載されている。
大日本	観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けることについて、観察方法や実験器具の使い方などが『使い方をおぼえよう』に掲載されている。また、実験器具や薬品の使用、観察・実験を安全に行うための注意点などが『注意』に掲載されている。
学図	観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けることについて、観察方法や実験器具の使い方などが『理科室の使い方』に掲載されている。また、実験器具や薬品の使用、観察・実験を安全に行うための注意点などが『注意』『やくそく』に掲載されている。
教出	観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けることについて、観察方法や実験器具の使い方などが『使い方・調べ方』に掲載されている。また、実験器具や薬品の使用、観察・実験を安全に行うための注意点などが『注意』『危険』に掲載されている。
信教	観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けることについて、観察方法や実験器具の使い方などが『実験』が掲載されている。また、実験器具や薬品の使用、観察・実験を安全に行うための注意点などが『注意』に掲載されている。
啓林館	観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けることについて、観察方法や実験器具の使い方などが『けんび鏡』に掲載されている。また、実験器具や薬品の使用、観察・実験を安全に行うための注意点などが『注意』に掲載されている。

① 観察、実験などは、学年を通して育成を目指す問題解決の力を養うよう、配列や内容の工夫や配慮がなされているか。	
東書	学年を通して育成を目指す問題解決の力を養うことについて、第6学年では、集気びんの中でろうそくを燃やし続けるために必要なことを考える学習活動などが『のぼそう！理科の力』に設定されている。また、各学年で問題解決の力を養うため、実験・観察から得られた結果を深めるための問題提起が『考察しよう』に掲載されている。
大日本	学年を通して育成を目指す問題解決の力を養うことについて、第6学年では、暑い日に行う打ち水や緑のカーテンによる効果が、水や植物のどのような性質を生かしているのかを考える学習活動が『Science World』に設定されている。また、巻頭に各単元の学習活動について、自分の考えを持っている実験・観察が『理科の学び方』に掲載されている。
学図	学年を通して育成を目指す問題解決の力を養うことについて、第6学年では、生物の体の中に含まれる水分やそのはたらきについて考える学習活動などが『もっと知りたい』に設定されている。また、巻頭に理科の「見方・考え方」を働かせた実験・観察が『科学の芽を育てよう』に掲載されている。
教出	学年を通して育成を目指す問題解決の力を養うことについて、第6学年では、地球温暖化の原因や影響、また、その対策について考える学習活動などが『しりょう』に設定されている。また、巻頭に実験・観察を通して確かな考えをつくり出す力を育み、見通しをもって学習する構成が『学習の進め方』に掲載されている。
信教	学年を通して育成を目指す問題解決の力を養うことについて、第6学年では、学んだことについて主体的に新たなテーマを設定する学習活動が『やってみよう自由研究』に設定されている。また、巻頭に実験・観察を通して、問題解決の力を育む学習の進め方が『理科の学習の進め方』に掲載されている。
啓林館	学年を通して育成を目指す問題解決の力を養うことについて、第6学年では、ものを燃やすための条件について考える学習活動などが『くらしとリンク』に設定されている。また、実験・観察を通して問題解決の力を育む学習活動の進め方が『理科の楽しみ方』に掲載されている。
② 「理科の見方・考え方」を働かせて、自然の事物・現象についての問題を科学的に解決するよう、観察、実験などに工夫や配慮がなされているか。	
東書	「理科の見方・考え方」を働かせて、自然の事物、現象の問題を科学的に解決することについて、第6学年では、酸素の中と空気の中のろうそくの燃え方の違いを考える学習活動などが『上げよう！理科の発想』に設定されている。また、章のはじめにこれまでの経験から問題を想起し、実験・観察を通してその問題を解決していく学習活動が『レッツトライ』に設定されている。
大日本	「理科の見方・考え方」を働かせて、自然の事物、現象の問題を科学的に解決することについて、第6学年では、葉に日光が当たると植物が成長することについて考える学習活動などが『ココに注目』に設定されている。また、章末に実験・観察を通して得られた結果をもとに、共通点や相違点について調べ、深めていく学習活動が『深めよう』に設定されている。
学図	「理科の見方・考え方」を働かせて、自然の事物、現象の問題を科学的に解決することについて、第6学年では、空気のないところで植物でできているものを燃やし続けると炭になることについて考える学習活動などが『できるようになった』に設定されている。また、章末に実験・観察を通して得られた結果をもとに、さらに問題、予想、実験を行い問題解決の力を育む学習活動が『やってみよう』に設定されている。
教出	「理科の見方・考え方」を働かせて、自然の事物、現象の問題を科学的に解決することについて、第6学年では、だ液を混ぜたものと混ぜていないもので起こる変化の違いについて考える学習活動などが『考え方のカギ』に設定されている。また、章末に実験・観察を通して得られた結果をもとに、さらに詳しく調べるための実験や観察を行う学習活動が『チャレンジ』に設定されている。
信教	「理科の見方・考え方」を働かせて、自然の事物、現象の問題を科学的に解決することについて、第6学年では、葉に日光が当たるとでんぷんができることを確かめる方法を考える学習活動などが『方法を考えてみよう』に設定されている。また、これまでの実験・観察を通して得られた結果から関連させ、発展させる実験や観察を行う学習活動が『やってみよう自由研究』に設定されている。
啓林館	「理科の見方・考え方」を働かせて、自然の事物、現象の問題を科学的に解決することについて、第6学年では、太陽光パネルがどの家も同じ向きに取り付けられていることについて考える学習活動などが『「理科の見方・考え方」が役に立ったよ！』に設定されている。また、章末に実験・観察を通して得られた結果を発展させて、考え答えを導き出す学習活動が『活用しよう』に設定されている。

4 分量・装丁・表記等

⑱ 各内容の分量とその配分は適切であるか。	
東書	補充や発展問題として、単元末に『ふりかえろう』『たしかめよう』が掲載されている。また、『1年間をふりかえろう』などが掲載されている。第3・6学年は11章、第4学年は12章、第5学年は10章で構成されている。
大日本	補充や発展問題として、単元末に『確かめよう』『学んだことを生かそう』などが掲載されている。巻末に『チャレンジ問題』などが掲載されている。第3・6学年は11章、第4・5学年は10章で構成されている。
学図	補充や学習の振り返りとして、単元末に『ふりかえろう』『できるようになった』などが記載されている。巻末に『理科の世界をふりかえろう』などが掲載されている。第3学年は12章、第4学年は11章、第5学年は9章、第6学年は10章で構成されている。
教出	補充や発展問題として、単元末に『問題』『確かめよう』などが掲載されている。また、巻末に『6年で学んだこと』などが掲載されている。第3・4学年は11章、第5・6学年は9章で構成されている。
信教	補充や発展問題として、単元末に『ふりかえろう』『やってみよう自由研究』などが掲載されている。第3学年は14章、第4学年は16章、第5学年は11章、第6学年は10章で構成されている。
啓林館	補充や発展問題として、単元末に『たしかめよう』『活用しよう』などが掲載されている。巻末に『理科につながる算数のまど』などが掲載されている。第3・4学年は11章、第5学年は9章、第6学年は10章で構成されている。
⑳ 体裁がよく、児童が使いやすいような工夫や配慮がなされているか。	
東書	判型はA4判が採用されている。
大日本	判型はA4判が採用されている。
学図	判型はA B判が採用されている。
教出	判型はA4変形判が採用されている。
信教	判型はA B判が採用されている。
啓林館	判型はA B判が採用されている。
㉑ 文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、児童が読みやすく理解しやすいような工夫や配慮がなされているか。	
東書	『全ての児童の色覚特性に適應するようにデザインしています。』『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』と表記されている。
大日本	『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』と表記されている。
学図	『色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮しています。』『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』と表記されている。
教出	『色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮しています。』『見やすさ・読みやすさに配慮したユニバーサルデザインフォントを使用しています。』と表記されている。
信教	『この教科書は、必要な情報がより多くの人に伝わるよう、カラーユニバーサルデザインに配慮して作られています。』と表記されている。
啓林館	『見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』『個人の特性にかかわらず、内容が伝わりやすい配色・デザインを用いました。メディアユニバーサルデザイン協会の認定を申請中です。(後略)』と表記されている。

【参考】

① 題材に関連した神奈川県に関する主な文章や写真・グラフ等の掲載

東書	第3学年 P130 (横浜市) 『身のまわりの明かり』 第4学年 P15 (川崎市) 『春のおとずれ』 P55 (横浜市) 『雨水によるさい害をふせぐ』 P77 (横浜市) 『みなとみらい技術館』 第5学年 P86 (川崎市) 『わたしたちのくらしと災害』 第6学年 P59 (逗子市) 『植物があるくらし』 P94 (小田原市) P109 (三浦市) 『現在の馬の背洞門のようす』
大日本	第3学年 P55 (秦野市) 『じょうぶなやさいを育てるために』 P86-87 (横浜市) 『植物の育ち方』 P91 (藤沢市) 『湘南台文化センターこども館』 第4学年 P4-5 (茅ヶ崎市) 『季節と生物』 P65 (横浜市) 『はまぎんこども宇宙科学館』 P92 (秦野市) 『水無川』 第5学年 P9 (相模原市) 『いろいろな雲を調べてみよう!』 P62 (横須賀市) 『夕方のにじは、晴れ』 P96 (横浜市) 『鶴見川多目的遊水地』 第6学年 P127 (横須賀市) P129 (小田原市) 『丸みをもったれきがふくまれるしま模様』 P137 (小田原市) 『神奈川県立生命の星・地球博物館』
学図	第3学年 P69 (小田原市) 『神奈川県立生命の星・地球博物館』 第4学年 P23 (横浜市) 『百葉箱』 第5学年 P52 (横浜市) 『野生のメダカを守る』 P61 (相模原市) 『大雨による土しゃくずれ』 第6学年 P27 (横浜市) 『横浜市消防局』 P80 (横浜市) 『海の中の森を取りもどす』 P83 (横浜市) 『横浜市消防局横浜市市民防災センター』
教出	第3学年 P106 (横浜市) 『光のまと当て』 P192 (箱根町) 『養老孟子』 第4学年 P55 (川崎市) 『燃料電池で走る未来の車』 第5学年 P9 (藤沢市) 『天気の変化』 P106 (平塚市) 『地理院地図で調べた相模川の下流の様子』 P107 (川崎市) 『多摩川』 第6学年 P113 (小田原市) 『れき、砂、どろでできた地層』 P128 (三浦市) 『関東地震』 P129 (三浦市) 『断層が見られる土地』
信教	なし
啓林館	第3学年 P51 (相模原市) 『たこ』 第4学年 P128 (三浦市) 『城ヶ島』 第5学年 P67 (相模原市) 『大雨によるがけくずれ』 P117 (横浜市) 『川ぞいにある遊水地』 P161 (川崎市) 『カワスイ川崎水族館』 第6学年 P85 (横浜市) 『よこはま動物園ズーラシア』 P142 (藤沢市) 『地震による大地の変化』 P176 (藤沢市) 『いろいろなところで光電池を利用して発電している町』

※ 二次元コードのリンク先にある、題材に関連した神奈川県に関する文章や写真・グラフ等は掲載していません

② 一冊ごとの重量 (g)

発行者名	総冊数	1年	2年	3年	4年	5年	6年
東書	4			394	438	374	440
大日本	4			474	525	454	531
学図	4			426	473	445	533
教出	4			416	496	448	479
信教	4			391	455	375	446
啓林館	4			396	401	383	430